

O.C.G—統制保証原産地呼称ワイン、ドイツではV.Q.b.A—指定地域上級ワイン、V.Q.m.P.—肩書付き高級ワイン—が格付けの高いものです。ラベルに表示されているので、選ぶ参考にしてください。

【アサヒビール高松支社に取材】

テーブルワイン、原産地無記名ワイン、Vins de Pays—地酒、V.A.O.V.D.、Q.S.—原産地名称上質指定ワイン、V.A.O.C.—原産地統制名称ワイン—に分けられ、順に格付けが高い、こだわりのワインになります。イタリアではV.D.O.C.—統制原産地呼称ワイン、V.D.

ワインは世界中で作られています。味わいを守るため、各国作り、製造法や原料などあります。その中でワインを分けるにはVins de Table—

22.11.25
香川大

海外への遠隔医療相談

来月から タイの日本人対象に

香川大医学部（三木町）が、タイ北部のチェンマイに住む日本人を対象に月2回の遠隔健康相談サービスを始めることが分かった。今月、徳田雅明教授が現地で開催された健康相談を実施。来月からパソコンのテレビ電話で現地と同大学をつなぎ、医師が相談に応じる。徳田教授は「海外の日本人への医療相談サービスのモデルとして発信したい」と意気込む。厚生労働省政策医療課医療技術情報推進室は「海外を対象にした遠隔医療相談は他に把握していない」という。

【吉田卓矢】

チェンマイの日本総領事館によると、管轄のタイ北部9県の在留邦人は3277人（10月1日現在）。物価の安さや治安の良さなど人も多い。

日本語通訳のいる民間病院もあるが、一方で意思疎通が十分にできず、薬の投与量などで不安を持つ人も多いという。

同大学は、チェンマイ大と06年から交流。医学部ではタイ人医師、看護師などを受け入れ、研修などをしてきた。そんな中、3年前に当時のチェンマイ

総領事から「日本人医師を派遣できないか」との話があった。香川大医学部は「派遣は厳しいが、何か協力したい」と検討。かがわ遠隔医療ネットワーク（KI-MIX）などで遠隔医療技術の蓄積があったため、同サービスをすることにした。今年5月から通信実験を繰り返してきた。その中で、体調不良を訴えた現地の日本人からテレビ電話で症状を聞き、脳血管系疾患の疑いがあったため、受診を指導。病気の早期発見につながった。サービスは、チェン

マイ在住のロングステイをしている日本人がつくる「チェンマイロングステイライフの会」が遠隔医療相談の希望者から申し込みを受け、同大学の医師がメールで、症状や現在治療中の病気、処方された薬、生活習慣などを記入する用紙を本人に送付。数回メールでやり取りした後、テレビ電話で相談する。

同学部付属病院医療情報部の横井英人教授は「現地で健康診断を受けた人のデータの見方や、持病を持っている人への相談などもできる」と話す。

震溪の自然を守る連合会」の山西克明代表（71）は「裁判は係争中なのに、土地を取り上げることに何の抵抗もないのか。震溪の景観を子孫に残すため、運動を続けたい」と話した。

【中村好見】

工事の準備作業着手

新内海ダム 反対派の収用対象地

県と小豆島町が建設を進める新内海ダム（小豆島町）で、県は測量など工事の準備作業に着手した。反対する住民数は収用対象から事業認定を受け、同年7月、未買収だった

協引 割 験



明された
ト高松で

人が出
利用
松、宝
体の居
ンター
若者に
とを受
来年1
18、24
・普通
金を1、
230
円）に
どをア
く。ま
また、
間ま



高松地裁で6月にあった裁判員裁判で、検察側が誤った法定刑を前提に論